

スポーツ連盟とやま

富山ウォーキングクラブニュース

第131号 (2020年 1月1日) 【発行責任者：寺山秀行】

2020年1月例会 1月5日(日)

あねくらひめ

姉倉比売神社 (大沢野・船峯) と

たくひれし
多久比礼志神社 (大沢野・塩) の初詣

- 集合場所
- ・小杉町薬勝寺池公園駐車場 9時20分
 - ・電車に参加の方 あい鉄「小杉駅」 9時11分
迎えに行きます
 - ・直接来られる方 10時50分 大沢野寺家公園駐車場

- 歩く距離
- ・天候にもよりますが 姉倉比売神社 ⇒ 三十三観音 ⇒ 帝龍寺 (寺家公園遊歩道 約2Km 1時間) ⇒ (車で移動) ⇒ 多久比礼志神社 参拝

- 見どころ
- ・19年の呉羽姉倉比売神社の比売の故郷
 - ・アカガシの林 (県天然記念物)
 - ・帝龍寺は神社の別当寺
 - ・多久比礼志神社の「塩社」の扁額
 - ・1940年まで湧出塩による塩出鉱泉があった。
 - ・塩出の池

持ち物 飲料水・雨具など (ランチは思案中)

参加費 通常の会員200円、一般参加者500円

参加申し込み 寺山秀行 (0766-24-8474 FAX・e-mailも可)
さんまで、Cメールは 090-2033-1905
申し込み時に集合場所を教えてください

締め切り期日 1月3日(金)まで



2020年
明けましてお
めでとうござ
います。

今年もご一緒
にレッツウォーク!

昨年中は大変お世話にな
り、ありがとうございました。

今年も“歴史の道を歩く”
“自然と親しむ”“庄川遡行”
等にコンセプトに楽しくウ
ォーキングしましょう。

会員の皆さまのご健勝と
ご多幸をお祈りいたします。

富山県 7 大河川の一つ

庄川遡上（河口⇒南郷大橋）

12月例会報告（12月20日）

庄川の分水嶺から河口までのウォーキングを思いついてから数年、分水嶺からの下りから河口からの遡上に変更しました。分水嶺からだとなかなか計画をスタート出来ず。遡上に決めました。

計画では前日の降水確率で順延することにしていましたが、スタートを切るために思い切って実施しました。

スタートは射水市の六渡寺にある市営住宅そばです。やや強いあいの風で波しぶきが飛んでくるのもいとわずまさに河口からです。

時折降る雨は思ったほどでなく風も穏やかになり歩きやすかったです。



堤防上には国土交通省が河口からの距離を200mごとに記すポールを立ててくれており歩く我々をもうここまで来た、もうチョットと励ましてくれました。

高新大橋の下で立ち休憩。

日曜日には子供たちの歓声が沸くサッカー場、花火大会や凧祭りで賑わう河川敷内のウォーキング道路を進みました。

大門大橋からは「水辺ふれあいロード」があり、舗装され大変歩きやすくなっていました。

た。

新幹線の橋梁を過ぎ先に進むと河原に水流を緩める水防施設があり、いろいろな工夫で堤防決壊の予防をしていることが判りました。

12:08少し遅れましたがやっと南郷大橋のもとに辿り着きました。

庄川遡上記録	
六渡寺河口	9:04
新庄川橋	9:15
牧野大橋	9:52
高新大橋	10:20
高岡大橋	10:59
大門大橋	11:16
新幹線下	11:45
南郷大橋	12:08

歩いた時間：3時間7分、歩いた距離：11,2Km、私の歩数計では18,800歩でした。

そのあと、イオンのFoodコーナーでめいめいの好みでのランチ。その後今後の例会計画を相談しました。

<後日談> 右上の河口からの距離を示す標識の写真を撮りたくて向かったら、丁度国土交通省のパトロールの車と出会い「距離標識」の役割を訊ねたら、「場所を特定するため」とのことでした。水害や水難の際に、連絡するのに必要だと思いました。



また子供達がアンコールワットのマグネットやスカーフなどを観光客相手に売りに来ます、何人かは子供達とかけひきしながら買っていました。午後からはアンコールトム（トムは大きいの意）に行きました。

参道には右に神々、左に阿修羅の像が54体つつ並んでいました。全部で108、日本の仏教も除夜の鐘108とよく似ています。

40～50段の木の階段を登って建物を見学、まるで石灰岩の洞窟の様でした。現在修復されているところが多く、日本のODAの支援や上智大学・東京大学などによる調査。研究が行われています。日本人として少しでも協力しておられる事を誇らしく思いました。



回廊に描かれた天国と地獄のレリーフ

アンコールトムの遺跡内ウォーキングは約7Km（9000歩）、日本の寺院とはスケールの大きさが格段に違うと感じました。

夜は伝統舞踊アプサラダンス（若い男女の軽快な踊り）を見ながら夕食を味わいました。

帰りは夜空を見上げると北斗七星がはっきりと杓型に見えました。星空に疎い私は感激！ 自然のきれいなカンボジアは空も澄み切っていました。

カンボジアは、広さは日本の1/2、人口は1/8、現在乾期（4月から10月は雨期）で道路はオレンジ色の砂地でほこりが舞い上がっている様でした。

アンコールワットは城砦都市、標高560m、12世紀前半当時アンコール王朝のスリーヤヴァルマン2世によって30年を経て建立されたヒンドゥー教寺院（後に上座部仏教）

現在のカンボジアの源流であるクメール王朝の遺跡群

14世紀、タイのアユタヤ王朝に滅ぼされてから、フランス人の植物学者に発見されるまで400年以上の間密林の中で眠っていた。1992年に世界遺産に登録される。